

特定非営利活動法人  
気象キャスターネットワーク

活動報告書

2019年



2020年 2月 15日

## 学校出前授業

気象や環境、防災などに関する様々なテーマの出前授業を全国各地の小学校、中学校、幼稚園などで実施しています。ワークショップや天気の実験、クイズなどを織り交ぜ、楽しみながら学べる授業です。

2019年は、企業様、団体様のご協力をいただきながら、小学校、中学校、幼稚園で一年間に合わせて157回の出前授業を行いました。

### ■2019年出前授業実施実績 157回

活動名	2019年実施数	実施地域
地球温暖化防止コミュニケーターによる 小学校・中学校環境出前授業 (環境省 委託)	101回 (2019年度97回)	全国各地
「なるほど！お天気実験教室 ～フロンを知って 地球を守ろう～」 (ダイキン工業株式会社 協賛)	16回 (2019年度14回)	関東・大阪
台東区学びのキャンパスプランニング (台東区 委託)	8回 (2019年度10回)	東京都台東区
空を見るとわかること (三浦工業・読売新聞 委託)	7回 (2019年度7回)	全国各地
地球温暖化防止コミュニケーターによる 小学校環境出前授業 (足立区 委託)	2回 (2019年度2回)	東京都足立区
自主事業による出前授業(減災プロジェクト)	23回 (2019年度18回)	全国各地
合計	157回 (2019年度148回)	

### 地球温暖化防止コミュニケーターによる 小学校・中学校環境出前授業

気候変動に関する政府間パネル「IPCC」の内容を一般の国民に伝えていく「地球温暖化防止コミュニケーター事業」。2013年度から始まった事業も今年度で7年目となりました。

気象キャスターネットワークでは気象の専門性とキャスターという伝える専門性とを活かしながら、多くの気象キャスター・気象予報士が地球温暖化防止コミュニケーターとして活動しています。

学校の募集を始める前から、多くの学校から「今年も実施しますか？お越しいただけますか？」と多くの問い合わせをいただくようになり、この出前授業が各地に広がり、また楽しみにしてくださっていることを大変嬉しく思っています。

今年も昨年に引き続き、小学校・中学校の授業を実施しました。

小学校では45分間の授業で、地球温暖化の原因、影響、対策について座学や実験を通して伝えています。中でも冒頭の

「2100年未来の天気予報」と、サイコロ型のボックスを使って、私たちの生活の中で「どこでエネルギーを使っているのか」を考える時間は、子供たちにも、先生方にも人気のコーナーです。

中学校では50分の授業2コマ分、前半が座学と実験、そして後半はアクティブラーニングを行っています。前半の地球温暖化の現状や対策、また実験の内容を振り返りながら、未来の地球にできることをグループで考えていきます。

2100年の未来…つまり、これから約80年間の自分も想像しながら、ワークが進んでいきます。未来の地球は、中学生の皆さんが考えたアイデアが溢れているといえると思っています。

小学生も中学生も環境や地球温暖化について知っていることが多く、鋭い質問や講師が思いつかないような意見やアイデアが出て、講師もいつも楽しく授業を行っています。

「私たちは未来のためにどんなことができ

るのか」。この授業をきっかけに、お友達やご家族と話す機会になれば嬉しく思います。



### 「なるほど！お天気・環境実験教室 ～フロンを知って 地球を守ろう！～」(ダイキン工業株式会社 協賛)

「なるほど！お天気・環境実験教室 ～フロンを知って 地球を守ろう！～」(ダイキン工業株式会社協賛)は、フロンの利便性と地球温暖化への影響をお伝えし、家庭でのフロンとの向き合い方を考えるきっかけづくりを目的としています。今年度で9年目を迎えました。

1時間目は「天気と環境」がテーマ。実験を交えて雲や雨の仕組み、世界の水不足問題についてお話です。これまで受業前半に気象予報士のお仕事についても触れていましたが、今年度から実際

にその日の天気を講師に予想してもらって「気象予報士の天気予報」を加え大好評でした。また、どの学級でも天気や節水に関する意識が高く、実験や話し合いに積極的に参加してくれました。

2時間目は、＜フロン＞について。実験を交えながら、フロンが気体や液体に姿を変えて熱を運んでいる仕組みや、フロンと地球温暖化との関係を説明します。エアコンを解体したり、学校のエアコンに封入されているフロンの量を調べるなどして、身近であることを実感してもらいま

した。多くの方にこの活動を知ってもらい、フロンや環境について考えるきっかけづくりができれば幸いです。



※生徒に大人気「水飲み鳥」  
2時間目に登場 →

## 三浦工業株式会社・読売新聞 プラネタリウム環境教育プロジェクト 「空を見るとわかること」



「プラネタリウム環境教育プロジェクト」は、ボイラーの製造販売を手がける三浦工業（本社：松山市）の60周年特別企画として企画され、東北から九州の小学校7校で行われました。

前半の出前授業では「空を見るとわかること」をテーマに、雲や天気の関係、地球温暖化や異常気象、夜空のことなどを盛り込んでお話しをしました。後半は体育館に設置した巨大移動式ドーム型テントの中でプラネタリウム鑑賞です。美しい星座や銀河の映像に、子どもたちは歓声をあ

げながら見入っていました。「まさか、体育館でプラネタリウムが見られるなんて！」と先生方も感動していました。1年という期間限定プログラムではありましたが、プラネタリウム×環境教育という、これまでなかった出前授業を行うことができ、気付きや学びの多い授業となりました。

### 【講師 岩名美樹さんのご感想】

子供達の反応はとても良かったです。先生方からも好評で、前半の授業は次のプラネタリウムにつながる内容で子供たちは、2つのリンクした授業でより深く理解し

て環境の事を考えてくれるのではないかとおっしゃっていました。私自身もとても貴重な経験ができて楽しかったです。



## 自主事業による出前授業 (減災プロジェクト)

気象キャスターネットワーク独自で行っている「自主出前授業」を今年も実施しました。自主出前授業は、これまでの講師の経験を生かし、授業内容、実施する学校の決定、学校調整など、全て講師にお任せし授業を行うもので、2019年は23回を実施しました。

気象・防災・環境の話だけでなく、気象予報士、気象キャスターについて話す講師も多く、また使用する実験道具もそれぞれ異なるので、講師オリジナルの授業を各学校で楽しいただけていると思います。



## 台東区 学びのキャンパスプランニング

台東区教育委員会が主催する「台東区学びのキャンパスプランニング」を通じて、台東区内の保育園・小学校・中学校で、気象・環境・防災の授業、キャリア教育を行いました。

防災キャラクターの「サイぼうくん・サイぼうちゃん」が登場する保育園の授業は、とても人気で毎年楽しみにしてくれている園もあります。身近な天気のことや熱中症、気象災害について、「サイぼうくん・サイぼうちゃん」と「博士」と一緒に学んだことを一つでも覚えてくれたら嬉しいです。園での授業は元気いっぱいの園児に押され気味になることがしばしばありますが、その元気のよさと、素直な反応にいつも楽しく授業を行っています。

小学校では「空の教室」「自然エネルギーの教室」「暑すぎる東京のふしぎ発見」の3テーマの中から1つ選んでいただき、授業を行いました。簡単な実験や観測も取り入れ、より具体的、実践的に学べる授業を実施しました。

中学校は、『夢を語る授業「みんなにお天気を伝えたい』』と題して、キャリア教育の授業を行いました。講演を聞いて、気象予報士や気象キャスターの仕事に興味を持ってくれたらと思います。

今後も事務所のある台東区とともに地域に根差した活動も広げていきたいと思っています。

## イベントの開催

2019年も全国各地で子ども向けの天気や環境、防災に関するイベントを実施しました。イベントでは、テレビやラジオの気象キャスターが実験やゲーム、クイズを取り入れながら、ステージを盛り上げます。雲や雨、竜巻など天気の実験のほか、気象キャスター体験など、子ども達が実際に体験して楽しめるしかけもたくさんあります。また、東日本大震災以降継続している被災地ボランティアイベントは宮城県名取市で実施しました。気象キャスターネットワークでは、今後も被災地でのボランティア活動を続けていきたいと思ひます。

## 2019年 イベント 実施例

地球温暖化防止コミュニケーターによる親子向けイベント（東京、大阪）

被災地支援イベント「天気と写真のおはなし会  
気象キャスターと一緒に天気のことを考えてみよう」  
（宮城県名取市）

ダイキンショールーム「お天気・環境実験教室」（東京、大阪）

国土交通省「お天気キャスターと楽しく学ぼう！わくわくお天気教室」

水資源機構 水の週間イベント 親子で学ぶ防災教室  
気象キャスターが教える防災教室（東京）

品川区環境情報活動センター 子ども環境学習講座

岐阜県イベント「ぎふ清流COOLCHOICEトークミーティング」

## ■ 2019年イベント実施実績 27回

### 7月15日～21日 東京 写真展「天気のみかた、自然のみかた」

7月15日～21日、気象キャスターによる写真展「天気のみかた、自然のみかた」を東京・新宿で開催しました。当会員から参加希望者を募り、81人の気象キャスター・気象予報士が写真を出品しました。



テーマは天気と自然です。集まった写真は美しい空や夕焼け、珍しい気象現象、被災地、動植物や風景など、



気象予報士ならではの写真が揃いました。中にはスマートフォンで撮影した写真もありましたが、その写真を通して伝えたいことがある・・・参加者の想いがこもった見応えのある写真展になったと感じております。展示期間中、2回トークショーを実施しま

した。出品した気象予報士から、今回展示した写真や環境、自然への想いを話してもらい、写真のプロである武田康男さんと菊池真以さんのお二人からは、空の写真を撮るコツから珍しい写真まで説明してもらいました。写真を通して、温暖化や自然の問題を訴えていく、写真展は弊会として新しい試みとなりましたが、今後も続けていきたい活動です。



### 9月14日宮城県名取市 「天気と写真のおはなし会 気象キャスターと一緒に天気のことを考えてみよう」

東日本大震災以降、毎年行っているWCN被災地イベント。ことしは9月14日土曜日、宮城県名取市の名取市図書館で開催しました。



今回は新企画！図書館内の「おはなしの部屋」というお互いが近い距離で、絵本や写真を紹介しながら、天気や自然などについて楽しみながら考えるひととき。お越しいただいた50名を超える大勢のお子さんや親御さんの、そして話をして

いるメンバーの“いい顔”が印象的でした。また、空の探検家・武田康男さんの「空と南極の映像とお話」では、スクリーンから飛び出してくるような動きのペンギンに大歓声が上がリ、オーロラのカーテンには大人もすっかり魅せられていました。



そして、被災地の視察では、「閉上（ゆりあげ）震災を伝える会」の語り部お二人に、現地をご案内いただきました。



東日本大震災から8年半の名取市の今を視察して感じたことを、今後、どう伝え、どう生かしていくのか。そして、地元のこどもたちに楽しんでもらうために何ができるのか・・・あらためて向き合っ、考えていきたいと思ひます。（正会員・鈴木智恵さん）

8月15日(東京)・11月23日(大阪)  
「気象キャスターと一緒に考えよう 親子で学ぶ地球温暖化」

2019年は環境省の親子向けイベントを東京・大阪の2か所で開催しました。それぞれの地域で活躍している気象キャスターが講師となり、イベントを盛り上げ、各会場ともに多くの親子でにぎわいました。

東京は、東京国際フォーラムで酒井千佳さん、くぼてんきさんを講師に実施しました。東京での開催は、「丸の内キッズジャンボリー」内で実施され、参加希望者が多く抽選になるほどの人気講座でした。

前半では暑さや熱中症についてのお話です。毎年、死亡者が最も多い気象災害は大雨や台風ではなく、実は熱中症です。熱中症の症状やチェック方法をみんなで学びます。霧吹きでぬらした手をあおぐと、どんな風を感じるか親子で体験してもらいました。



後半は温暖化や二酸化炭素の排出について、一緒に考えていきます。

会場内を飛び回る大きな風船は、4人家族が排出している二酸化炭素量を表しています。たくさんの二酸化炭素を出していることを、見て、触って、楽しみながら考えてもらいました。



大阪は今回も大阪市立科学館での開催です。講師は前田智宏さんと広瀬駿さん。そして、科学館の江越学芸員です。

今年は猛暑だけでなく、台風などによる大雨被害が多かったため、異常気象・気象災害についてたくさんとりあげました。大人からお子さんまで関心が高かったようで、「はいっ！」と手を上げて答えてくれる姿が

印象的でした。そして、名物コーナーである江越学芸員の実験も大成功！

広瀬さんの表情からわかるように、とてもダイナミックな実験でした。温暖化の主な原因である二酸化炭素のことをわかりやすく説明していただきました。

クイズや実験、風船など内容盛りだくさんでお届けしました。地球のために、子どもたちの未来のために私たちにできることは何か、このイベントを通して考え、行動につなげていくキッカケになれば嬉しいです。



7月7日・12月1日  
岐阜県イベント「ぎふ清流COOLCHOICEトークミーティング」



7月7日と12月1日に、岐阜県地球温暖化対策イベント「ぎふ清流COOLCHOICEトークミーティング」を行いました。

7月7日はイオンモール各務原の大きな広場で、気象キャスターの山田修作さん、岡安里美さん、岐阜県出身お笑い芸人「流れ星」さんが会場を盛り上げてくれました。地球温暖化の問題、異常気象のことなど、映像やゲーム、実験を織り交ぜながら、楽しく学んでいきます。



「二酸化炭素を減らそう」ゲームでは二班に分かれ、ビーチボールの二酸化炭素シールをどちらが早く減らすことができるのか競い合ってもらいました。

12月1日は岐阜駅のアクティブGのクリスマスツリー前の会場です。気象キャスターの桜沢信司さん、富永幸さん、ゲストには岐阜県出身のタレント「敦士」さんが来ていただきました。今回のイベントで一番盛り上がったのは、風船を使って二酸化炭素の量を体感してもらうコーナーです。1日で風船何個分の二酸化炭素を排出しているのかクイズを出し、正解の個数を実際に会場に出して、皆さんに1個ずつ風船を持っていただき、体感してもらいました。

どちらもたくさんの方にお越しいただきましたが、近年の暑さや大雨で、温暖化や異常気象に興味がある方が多い印象でした。イベントでも最新の情報を入れ込んで、みなさんにお伝えできるよう、コンテンツの充実をはかっていきたいと思えます。



## 講座・研修会・見学会

気象キャスターネットワークでは、会員の方が気象・防災・環境に関する最新の情報・知識を学ぶことができる講座・研修会・見学会を実施しています。

2019年は、西日本豪雨の被災地視察会やダム見学会など、視察会・見学会も多く実施し、体感しながら学ぶことができました。毎年、地方ごとにも独自で特色のある見学会・勉強会が実施されています。

### 4月13～14日 岡山・広島 被災地視察会

4月13日・14日、2018年西日本豪雨被災地の視察会が、中国地方整備局のご協力の下、実施されました。

1日目は岡山・真備町から視察です。去年7月に氾濫した小田川では堤防工事が行われていました。真備町は約5メートルもの高さまで浸水した地域です。特に壊れている様子のない家屋でも近づいてみると、浸水被害を受けている様子がわか



り、水害の恐ろしさを目の当たりにしました。2日目は広島へ。2014年の広島豪雨の被災場所にも訪れ、砂防堰堤も実際に近くで拝見しました。今回の視察会では中国地方整備局の方から詳しく説明をいただき、更に被災した方からお話を聞くことができました。当時の様子や対策などがより理解が深まりました。

今回は、特に被害が大きかった倉敷市真備町を見学させて頂き、復興に向けての歩みを感じる事ができました。ただ、土砂による家屋倒壊や、氾濫による浸水は、県内の至る所で発生していて、未だ手付かずのまま、放置されている箇所も多いのが現実です。本当の復興への道のりはまだ遠いことを、私なりに伝えていけたらと思いました。（正会員 中島望さん）



### 6月23日 気象キャスター座談会



毎年恒例「気象キャスター座談会」を6月23日に開催しました。各放送局で活躍する気象キャスターから生で話を聞くことができると多くの方にご参加いただきました。

今回参加した気象キャスターは今村涼子さん、くぼてんきさん、神谷亜弓さん、コーディネーターは藤森代表です。

なぜ気象キャスターを志すようになったのか、「ローカル局と全国放送の違い」「天気を伝える上で大事にしていること」など現役の気象キャスターだからこそ話せる内容をざっくばらんに話してもらいました。

後半は4つの小さなグループに分かれ、少数で色々なお話をしました。この形式は初めての試みでしたが、参加者からは「質問しやすかった」と好評でした！

日頃気になっていることをご質問いただき、気象キャスターと参加者で、フラットにディスカッションをすることができました。あっという間の2時間になりました。



### 11月10日 気象キャスター育成講座

11月10日、WCN主催「気象キャスター育成講座 短期集中ビギナー講座」が開催されました。気象キャスターの心得から天気原稿の書き方、天気図解析、さらに気象キャスター体験まで、短時間でしたがかなり内容の濃い講座になったと思います。

グループ講座のほか、個別でも気象キャスター講座を開催し、オーディション対策にも通ってもらった会員もいました。



気象キャスターの役割や原稿の書き方、実際の発表練習など、盛りだくさんでとても充実した内容を受講でき、とても貴重な経験になりました。貴重なアドバイスをいただくことができ大変ありがたかったです。今後のキャスターとしての活動だけでなく、人生にも生きるようなことを学べたような気がします。本当にありがとうございました。（参加者からの感想）

## 2019年実施 講座・研修会・見学会

2月	総会 特別講演 ①「異常気象」の考え方、伝え方 ②シチズンサイエンスによる気象観測アプリ ③住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト
	環境省 環境省コミュニケーター勉強会
4月	大塚製薬㈱ 熱中症勉強会 / 国交省・WCN 岡山、広島被災地視察会 気象講座 ・地球温暖化で変わりつつある日本の豪雨 ・イベント・アトリビューション ～異常気象と温暖化の関連を解き明かす新手法
6月	気象庁 防災情報についての勉強会 / 国交省 水防災勉強会・意見交換会 水資源機構 見学会(大阪) / 気象キャスター座談会
7月	東北地方整備局 ダム見学会(宮城)
10月	国交省 マイタイムライン勉強会
12月	名古屋地方気象台 勉強会

## 7月6日 気象環境ツアー 釜房ダムの見学と河川勉強会

東北地方整備局のご協力のもと開催している河川の勉強会。こしは、会員からのリクエストもあり、仙台から車で約1時間、宮城県柴田郡川崎町にある釜房ダムで「ダム見学と河川の勉強会」として西日本豪雨から一年となる7月6日に行われました。



狩野武志所長から「釜房ダムの概要や役割」についてご説明いただいたあと、防災センターふれあい学習資料館で「ダムが出来るまでの歴史」を学び、さらに、ヘルメットをかぶってダム堤体内部へ。普段はなかなか入れない、通常の放流を行うためのコンジットゲートや、監査廊のダム水深10mから30mにあたるところまでご案内いただきました。また、ダム堤防で最も高い天端(てんば)から水面を見下ろしたり、異常洪水時に放流を行う「クレストゲート」もすぐ近くで見学。管理所に戻ってからは、洪水調整なども行われるダム操作室の見学、災害対応に関する意見交換と、ダムや河川について体験しながら知識を深める時間となりました。

ました。なお、住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザードリスク情報共有プロジェクトの一環で、東北地方整備局でもSNSによる情報発信を強化しようとツイッターを設けたそうです。

アカウント @mlit\_tohoku

(正会員 鈴木智恵さん)



## 6月2日 気象庁主催 防災情報のレベル化についての勉強会

6月2日、気象庁には全国各地から気象キャスターや気象予報士が集まりました。勉強会の内容は5月29日から始まった5段階の警戒レベル、危険度分布などの防災気象情報、地域に密着した情報発信の強化など、多岐にわたり、気象庁の高木様と坪井様から詳しくお話しをいただきました。



気象キャスターと気象庁の連携は非常に重要で、相互に理解を深めるために、活発に意見交換が行われました。



新しい情報を伝えるには、伝える側がしっかり理解する必要があるため、このような機会は大変ありがたいです。



今後も新しい情報や最新の知見などをテーマに、会員向けの勉強会を定期的に行っていく予定です。

当日、勉強会に参加できなかった方のために動画や資料は会員専用ページに随時あげています。ご活用いただければ幸いです。

## 10月20日 マイ・タイムライン ワークショップ 講師のための研修会

10月20日午後1時半～4時、東京都千代田区にある(一財)河川情報センター会議室で、マイ・タイムライン ワークショップ講師のための研修会が行われました。

2019年台風19号の爪痕が色濃く残る中での開催。日曜日ということもあり、北海道・秋田・大坂・広島など、遠方からも申し込みがあり、ほぼ定員の29人で会場は満杯になりました。

マイタイムラインとは、台風や大雨などの災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて作る自分自身の防災行動計画です。今回は、このマイ・タイムラインを全国的に普及させるため、ワークショップを開催する講師を育成すること、また、マイ・タイムラインの情報の共有が目的の研修会でした。



はじめに「大規模広域豪雨を踏まえた水災害対策のあり方について」国交省望月嘉徳さんからのお話。続いてマイ・タイムラインの概要として、取り組みの経過、逃げキッドの説明が(一財)河川情報センター向井正大さんからありました。マイタイム作成ワークショップについては、気象キャスターネットワーク水越祐一さんから、気象キャスターによるマイ・タイムラ

イン講習会の事例、流れ、アドバイスなどがありました。

その後、実際に自分たちでマイタイムラインを作ってみました。台紙に基本のシールを貼っていくと、自分はいつ何をするのか？漠然としていた避難についての情報が整理されてくるのを感じました。

2時間半とは思えないほど、内容の濃い研修会となりました。



## 講演・セミナーなど

官公庁や自治体、企業、団体からの依頼をいただき、一般市民や企業社員向けの講演やセミナーを全国各地で実施しました。気象キャスターや気象予報士が、気象災害から身を守るための様々な気象情報の活用方法や、天気予報の見方など最新の映像や事例を交え、わかりやすくお話ししています。



気象健康セミナー(大塚製薬株式会社協賛)

2019年 講演・セミナーなど 実施例
気象健康セミナー (大塚製薬株式会社協賛、2019年17回実施)
お天気キャスターと学ぼう マイ・タイムライン(2019年10回実施)
環境省 地球温暖化防止コミュニケーター 養成セミナー(2019年5回実施)
地球温暖化と気象災害への備え
近年の気象災害と気象情報の活用
天気と安全 労災リスクを減らす気象のチェックポイント
激甚化する気象災害への備え
気象災害から身を守るための天気予報活用法
天気予報の見方と気象災害への備え
気象・環境などに関する原稿執筆、インタビュー

## ■2019年講演など実施実績 138回

## 気象・生活情報/会員向けコンテンツの提供

気象キャスターネットワークでは、熱中症情報や乾燥情報など生活に役立つ情報を発信しています。熱中症予防情報(大塚製薬株式会社協働)では、暑さ指数(WBGT)を使い、気温だけでなく湿度などを加味した熱中症の危険度を予測しています。スマートフォン向けページではGPS機能で現在地の暑さ指数を手軽に表

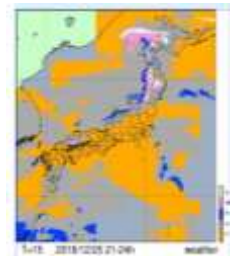
示できる形となっています。生活乾燥情報(大塚製薬株式会社協働)では、暖房した室内の乾燥度合が分かる室内乾燥指数(IDI)を予測しています。春には独自の「さくら開花予想」を発表しています。また会員の皆様にお役立ていただける気象情報閲覧ページも開設しています。



熱中症予防情報(大塚製薬株式会社協働)



さくら開花予想



会員専用ページ MSMガイドンス

## 会員数

この1年の間にも多くの方に新規に会員になっていただき、2019年12月末で会員数は計270人となりました。全国の多くの会員の皆様にご参加いただいているパワーとネットワークを生かせるように、2020年も一層活動の幅を広げていきたいと考えております。

正会員	158名
一般会員	99名
学生会員	13名
賛助会員	3社
計	270名・3社

2019年12月末現在



気象キャスターネットワーク 防災キャラクター

# サイぼうくん

## NPO法人 気象キャスターネットワーク

〒110-0002

東京都台東区上野桜木1-14-21  
高遠レジデンス上野桜木202号

TEL 03-5832-9401

FAX 03-5832-9402

MAIL [info@weathercaster.jp](mailto:info@weathercaster.jp)

ホームページもご覧ください

<http://www.weathercaster.jp/>

気象キャスター

検索

